

特別用途食品制度の見直しに関する説明会

08年10月29日

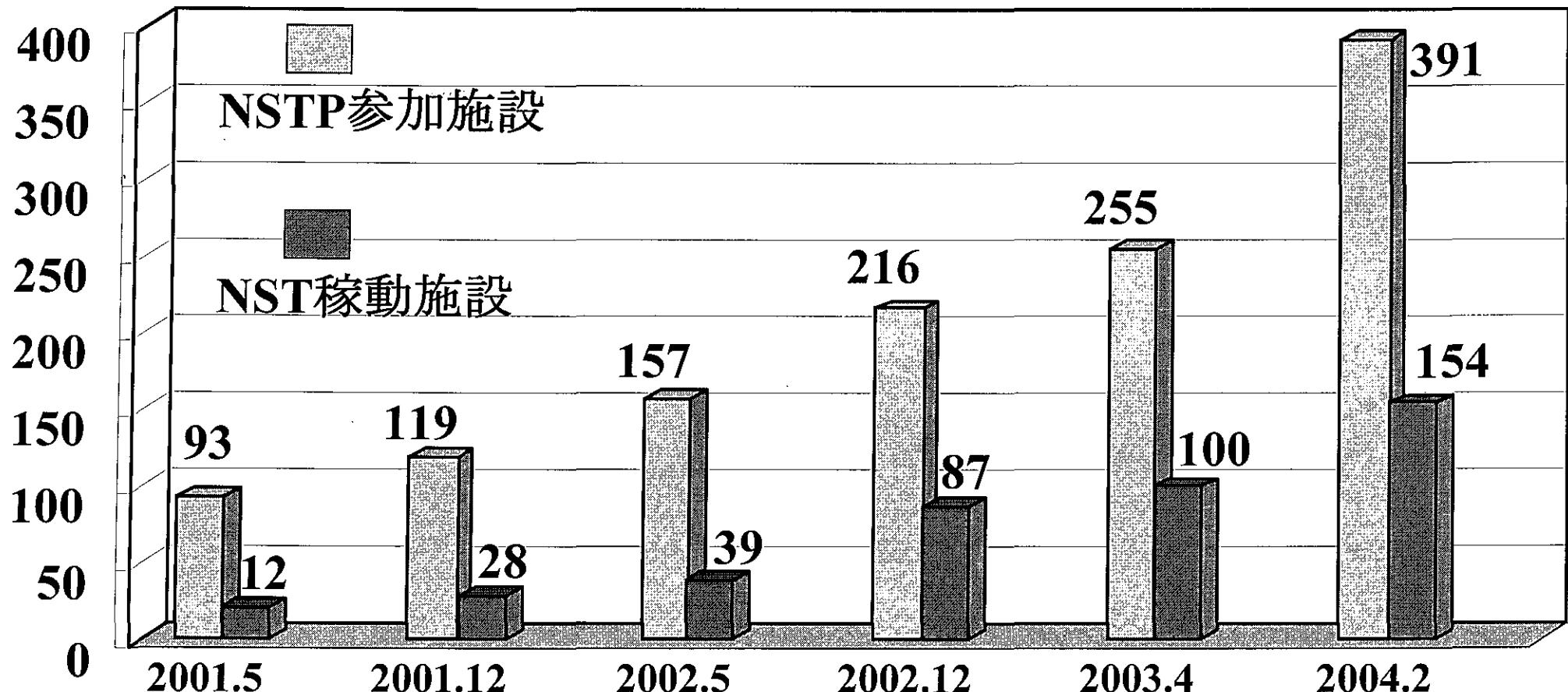
臨床現場から見た 特別用途食品について

医療法人 川崎病院 外科 井上善文

特別用途食品制度

- おそらく、
医師の90%以上がこの制度を知らない
- 一番よく使用する、濃厚流動食が
この制度の食品に含まれていなかい
- 医師はこの制度 자체に興味がない
- 医師は栄養療法 자체に興味がない

JSPEN : NST Project 参加施設数の推移



2008年7月 NST稼動認定施設数 1223

本邦におけるNSTの問題点

現在、多くの病院で設立されているNSTの
興味の中心となっているキーワードは

高齢者 摂食・嚥下障害 褥瘡

PEG 経腸栄養剤の固形化

栄養療法の中身に関する知識レベルは低い
濃厚流動食の中身に関する知識レベルも低い

現在、使用可能な
経腸栄養剤の数は？
濃厚流動食の数は？

把握できないほど多くの製剤が発売されている

経腸栄養剤とは

● 経腸栄養剤：

咀嚼を要しない液状の経腸栄養用の製剤
(外科代謝栄養学会用語集)

● Enteral formulation :

A ready-to-administer mixture of nutrients
投与する準備ができている栄養素の混合物
(definition of term, ASPEN)

経腸栄養 Enteral Nutrition:EN

- 消化管を通して栄養投与を行うこと。
広義には経口栄養を含む
(外科代謝栄養学会用語集)
- Nutrition provided through the gastrointestinal tract via a tube, catheter, or stoma that delivers nutrients distal to the oral cavity (definition of terms, ASPEN)

= tube feeding (経管栄養法)

経腸栄養剤の分類

1. 自然食品流動食

普通流動食

ミキサー食

天然濃厚流動食

2. 人工濃厚流動食

半消化態栄養剤 : polymeric formula

消化態栄養剤 : oligomeric formula
(成分栄養剤 : elemental diet (ED))

普通流動食

1. 重湯、野菜スープ、牛乳、卵黄、果汁などを素材としたもの
2. 比較的簡単に作成できる、水分の多い流動食
3. 調製に時間と手間がかかる、投与しにくい、エネルギー効率が悪い、などの問題がある。
(300 mLで 100 kcal 程度)

自然食品流動食

ミキサー食

1. 粥などをミキサーでブレンドし、流動状態として経管投与ができるようにしたもの
2. 繊維成分が多いため、チューブが詰まりやすい
3. 調製に時間と手間がかかる
4. 流動性に乏しいため投与しにくい

経腸栄養剤の分類

1. 天然濃厚流動食
2. 人工濃厚流動食

半消化態栄養剤 : polymeric formula

消化態栄養剤 : oligomeric formula

(成分栄養剤 : elemental diet (ED))

*疾患別経腸栄養剤 : *Disease-Specific Formula*

人工濃厚流動食

天然の素材を人工的に処理、あるいは、合成アミノ酸、低分子ペプチドやビタミン、微量元素をえたもので、バランスのとれた栄養剤

窒素源の違いや消化の必要性の有無などから

1. 半消化態栄養剤 (polymeric formula)

2. 消化態栄養剤 (oligomeric formula)

* 成分栄養剤 (elemental diet)

に分けられる

LRD

Low residue diet

低残渣食

半消化態栄養剤

半消化態栄養剤は、低残渣食と呼ばれていたが、最近の製剤は食物纖維を含むものが多くなっているので、必ずしも低残渣食ではない

半消化態栄養剤：Polymeric formula

人工濃厚流動食

半消化態栄養剤

1. 窒素源がタンパク質
2. 糖質はデキストリンや二糖類
3. 脂肪含有量は多い
4. 消化能が必要であるため、一定の長さ以上の機能を有する腸管が必要である
5. 消化態栄養剤に比べると味がよい
6. 医薬品扱いのものと食品扱いのものがある

人工濃厚流動食

半消化態栄養剤

医薬品

- ラコール
- エンシュア・リキッド
- エンシュア・H
- ハーモニック-M
- ハーモニック-F

RTH製剤

半消化態栄養剤

人工濃厚流動食

食品：L-1、L-2、L-3ファイバーズ、L-4ハイカロリー、L-5、L-6PM
プラス、L-7 TER、L-8、笑顔俱楽部、インパクト、メディエフバッ
グ、メディエフアミノプラス、イソテンダー、ペムベスト、グルセル
ナ、プルモケア、ジェビティ、エンリッチ-SF、ハイネックス、ハイ
ネックス-E、エネプラス、リキッドダイエットK-3S α 、リキッドダイ
エットK-4S、リキッドダイエットK-4A、リキッドダイエットNEW K-
2S、ヒアロケア、CZ-HI、CZ 1.5、CZ 2.0、MA-7、MA-8、PN-Hi、
E-1、E-3、E-4、E-6、E-6 1.5、E-6 II、E-7、E-7S、ヘパス、遊びまし
ょ！、サンキストポチプラス、カキリコ、ブイクレス α 、サンエット
L、サンエット-1.5、サンエット-A、サンエット-GP、リカバリーSOY
、サンケンラクト、プロテインマックス、グランケア、テゾン、テル
ミール2.0、テルミールミニ、テルミールソフト、レナウェル、エフツ
ーアルファ、イムン、タピオン、ライフロンQ10、アイソカル、イン
スロー、FibrenYH、リーナレン、メイベランス1.5ZCS、メイベラン
ス2.0ZCS、カロリアン、カロリアン-L、・・・・・・・・・・・・・

消化態栄養剤

人工濃厚流動食

- oligomeric formula

- すべての成分が化学的に明らかなものから構成されている (Chemically Defined Diet:CDD)

- 消化を必要とせず、
小腸からすべてが吸収されて残渣を残さない

- 窒素源が吸収効率のよいジペプチド、トリペプチド、アミノ酸から構成されている

(Elemental Diet:ED, 成分栄養剤)

- 糖質はデキストリンや二糖類が用いられている

病態別経腸栄養剤

Disease-Specific Formula

1. 腎不全用

2. 肝不全用

3. 呼吸不全用

4. 耐糖能異常用

5. 消化障害用

6. 小児用

7. 癌患者用

8. 免疫強化

9. 免疫調整

たんぱく調整流動食

- タンパク質摂取量の調節が容易
- 高濃度で水分制限に対応
- 消化・吸収に適したMCTを配合
- 日本腎臓学会のガイドラインを参考に、
P、K、Na量に配慮
- シャンピニオンエキス配合

肝不全用成分栄養剤

ヘパンED

- 医薬品、成分栄養剤
- 肝性脳症を伴う慢性肝不全患者
- Fischer比 : 61
- 肝性脳症の誘因となる
アンモニアの低下作用
を示す

肝不全用経口栄養剤

アミノレバンEN：Aminoleban EN

- 医薬品、半消化態栄養剤（結晶アミノ酸+ゼラチン水解物：オリゴペプチド）
- Fischer比：38
- タンパク質含有量が6.4g/100kcalと非常に多い
- NPC/N比=81
- 食事で蛋白摂取量が不足している症例がよい適応となる。特にLESとして多用されている

呼吸不全用経腸栄養剤

脂肪・炭水化物調製栄養食品：プルモケア
Pulmocare

- 脂質 55.2%、糖質 28.1%と
高脂質・低糖質
- 呼吸商を下げることを
意図している
- 375 kcal/ 250mL/缶
- MCTを配合

耐糖能異常用経腸栄養剤

×糖尿病用経腸栄養剤

● グルセルナ： GLUCERNA
脂肪・炭水化物調製栄養食品

● タピオン： TAPION
糖質・脂質調整栄養食

● インスロー： Inslow
糖質調整流動食

免疫能賦活経腸栄養剤 (immune-enhancing diet : IED)

- インパクト：栄養調整食
Oral IMPACT IMMUNONUTRITION
- サンエット-GP：グルタミン含有
SANET-GP
- アルギニン・グルタミンリッチ栄養食
イムンアルファ : IMMUN α

経腸栄養剤に関する最新の話題

Enteral Diet enriched with EPA and γ -linolenic acid

Immuno-Modulating Diet (IMD)

重症症例の炎症:Inflammationを制御
することが証明されている経腸栄養剤

オキシーパ[®] Oxepa[®]

コンデンス型流動食とは？

必要な栄養素が凝縮された小容量の流動食

イージー・クイック法とは？

- 小容量で高栄養の流動食を短時間で注入する方法
- 注入の手間、時間がより短縮することになり、
介護者等の負担が減る
- 体位保持時間も短縮されるので褥瘡予防、
嚥下摂食リハビリ時間の確保等、
様々な利点が考えられる

濃厚流動食品に望むこと

1. これ以上、種類を増やさないで欲しい
2. 流動食として整理すべきではないか
3. 安易に新しい製品が出すぎている？
4. いい製品を出せば、それに関する
エビデンスを出す努力をして欲しい
5. 栄養療法に関する教育・啓蒙活動を
積極的にやって欲しい

病者用食品としての総合栄養食品

1. 安心して、信頼できる食品となる
2. 安易に製品が作られることが減る
3. 医療関係者が特別用途食品制度を認知する
ようになる
4. 『行政のお墨付き』をもって、安心・信頼
の濃厚流動食の使用を推奨できる
5. 医師等に対する啓蒙活動がやりやすくなる

病者用食品としての総合栄養食品

1. 医師・管理栄養士等による適切な助言指導の機会を保障
2. 一定の広告も認めること等を通じ、制度の認知度を高める
3. 審査体制の強化：最新の医学的・栄養学的知見に沿った審査体制を確保
4. 個別評価型：病態別経腸栄養剤の解説ができるようになる

医療関係者の栄養管理に関する
レベルアップを期待したい